

高知県商工団体連合会 NO.965(52-42)

〒780-8035 高知市河ノ瀬町33
TEL088-832-4838 FAX088-832-3126
Eメール kosyoren@citrus.ocn.ne.jp
ホームページ http://kousyouren.jp/

このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

拡大推進
委員会

全商連創立70周年にむけ仲間増やしを

■2021年 全商連70周年めざす運動

7/4 現在	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	5	0	0	0	0	3
香美郡	7	2	3	2	0	6
南国	8	0	2	0	0	3
高知	18	4	0	0	0	8
仁淀川	6	1	0	0	0	3
須崎	3	0	0	0	0	2
中村	3	0	0	0	0	3
計	50	7	5	2	0	28

成果会員：読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

■全国総会時現勢との差

7/4 現在	読者	会員	共済					婦人	青年
			総加入者	民商 会員	配偶者	婦人	青年		
安芸	+1	-1	0	0	0	-3	0		
香美郡	+10	+3	-7	+2	+1	-4	0		
南国	-4	-4	0	-4	+1	+1	0		
高知	-7	-17	-48	-18	-11	-12	-2		
仁淀川	-7	-3	-2	-3	-1	-2	0		
須崎	+4	-8	-6	-3	-3	-5	0		
中村	-20	-4	-8	-4	-2	-1	0		
計	-23	-34	-71	-30	-15	-26	-2		

7月1日、県連拡大推進委員会を開催し、11月の全商連創立70周年祝賀会にむけ、拡大運動にどう取り組むか等を討議。当面、全国会長・事務局長会議(7/11)までに、全商連が前回全商連総会時の読者現勢を回復・突破しようと確認しました。(現在の到達・差は左表参照)

さつそく、南国民商拡大推進委員の片山副会長が、知り合いなどに声をかけ、読者5人を拡大。東谷県連会長も南国の取引先に読者になってもらいました。

仁淀川民商では、国の一時支援金を受給した土佐市の居酒屋さんが入会しました。

衆議院選挙に向けた学習・対話チャシ 第2弾ができました

すでに各民商から届いている方もいると思います。チャシも使って対話をすすみましょう。追加がほしい方は民商、県連事務局まで連絡ください。お届けします。

政治の仕組み、つととを、付随的知識として

- 議院の仕組み
- 議院の権限
- 議院の組織
- 議院の役割
- 議院の歴史
- 議院の未来

あなたはいくつ賛同できる?

市民と野党の共同で亡国政治にノーを!

武内氏、広田氏の訴え(政策、決意)「白川ようこさんとともに」を紹介しよう!

菅政権では中小業者の営業とくらしを守れない!
市民と野党の共同で亡国政治にノーを!

武内氏、広田氏の訴え(政策、決意)「白川ようこさんとともに」を紹介しよう!

武内則男衆議院議員

広田一衆議院議員

白川ようこさんの紹介

業者の味方! 県議14年の即戦力

市民と野党の共同で勝利をめざそう!

武内氏、広田氏の訴え(政策、決意)「白川ようこさんとともに」を紹介しよう!

武内則男衆議院議員

広田一衆議院議員

白川ようこさんの紹介

業者の味方! 県議14年の即戦力

PCR検査・抗原検査を受けましょう。検査料を補助します

高商連共済会
民商共済加入者がPCR検査・抗原検査を行った場合、共済会から検査料を補助します。

補助額：2500円
期間：6月23日～7月末
検査したことがわかる書類(領収書等)を添付し、民商共済会に請求してください。

野党共闘を前進させた都議選

7月4日の都議選では、「オリピックよりも命を大事にする政治」「中小業者を守り育てる都政」の実現などが争点となりました。選挙中にも都主催のプロジェクトビューイングの中止、都内各自治体での学校連携観戦プログラムの相次ぐ辞退表明、東京都の感染拡大防止協力金の申請受付前倒しなどを実現させ、声を上げれば政治は変えられることが示されました。

自民・公明は目標として掲げた都議会過半数を実現することができず、菅政権に対する大きな打撃となりました。また日本共産党と立憲民主党は13人区で候補者調整を行い、相互支援してたたかいた。これまで保守系が独占してきた7つの一人区のうち2つで野党系候補が勝利するなど、総選挙での野党共闘を前進させ、政権交代の展望を切り開く重要な成果を築きました。



高知憲法ニュース(6/30より)

シリーズ憲法を学ぶ・語る・活かす15「ほっとまなぶプロジェクト」の報告①

プロジェクト事務局 中根晋作

高校生では、もうない。でも、社会人でもない。そんな「中途半端」な立ち位置の大学生たちは、コロナ禍を必死に戦っています。

昨年5月から始まった「ほっとまなぶプロジェクト」は高知県下6カ所、136回で延べ4978名が利用しています(6月末現在)。食糧を配布するだけでなく、来ると「ほっとまなぶ」できる場にするために、この間スタッフで議論を重ね、支援する側・される側の立ち位置を作らないような会話など工夫を重ねてきました。

学生のボランティアスタッフも90名を超えて参加してくれています。

1年がたった今でも学生の生活は厳しいままです。「オンライン授業ばかりで1日パソコンに向き合っているが、生活ができないので、隠れている」「大学から『バイト禁止』と言われているが、生活ができないので、隠れている」「3個買って朝・昼・晩と食べていたが、弁当販売のみに残り、1日1食でしのいでいる」などと悲痛な声が多く聞かれています。